

## 1. 整備方針

### ◆県央広域本部庁舎

熊本総合庁舎及び熊本土木事務所の建物が被災し、復旧（建替）が必要。

### ◆防災センター（行政棟新館10階）

熊本地震では高層階配置や活動スペースの不足等により災害対応に支障。既存建物への移設では十分な耐震性能や面積が確保できないため、施設整備が必要。

施設の共有化により、面積規模及び事業費の縮減を図る。

県庁敷地内に県央広域本部・防災センターを合築で整備する。

## 2. 整備スケジュール

種類	年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
建物		設計	入札契約	工事		
防災特殊設備		設計	入札契約	工事		

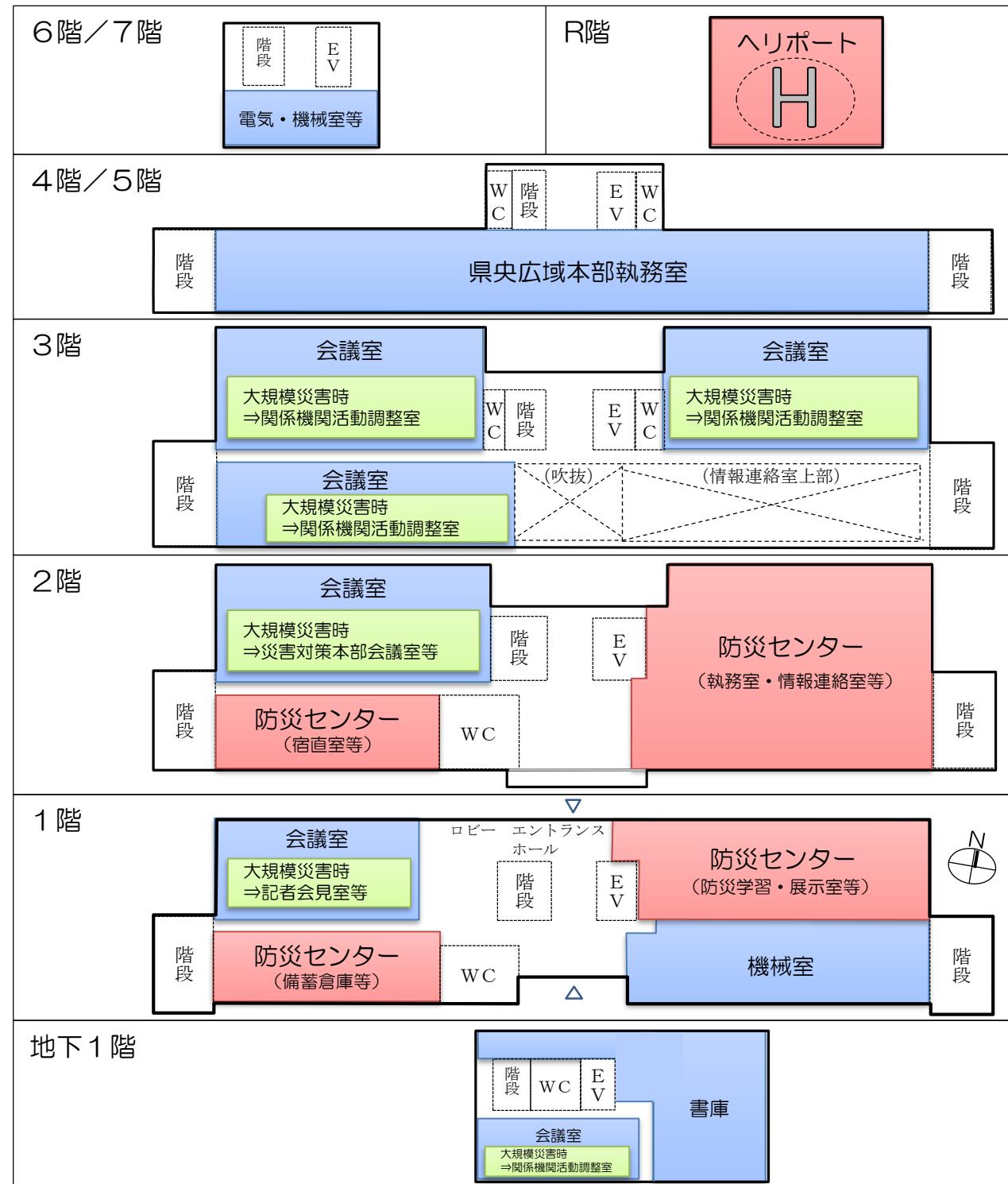
## 3. 整備概要

- 建設箇所：県庁行政棟新館北側エリア
- 構造：鉄筋コンクリート造(免震構造)
- 階数：地下1階、地上7階
- 事業費：99.4億円 内訳 建物：75.0億円／防災特殊設備：24.4億円
- 延べ面積：9,970㎡ 内訳 県央広域本部：7,333㎡／防災センター：2,637㎡  
(大規模災害時：6,648㎡)

### ◇施設の共有化等

- 県央広域本部の会議室は、大規模災害時に防災センターの災害対策本部会議室、関係機関活動調整室、記者会見室等として使用する。
- 低層階（2階）に情報連絡室等の災害対策の核となる主要な諸室を配置する。

### ◇各階配置図



### ◇合築庁舎整備イメージ

